

小規模保育園が0歳児～2歳児の 保育に適している理由とは？

浜田：小規模保育園は0歳児から2歳児までのこどもたちをお預かりする定員12名から19名の保育施設のことを言うわけですが、この小規模園の果たす役割についてまだまだ理解されていないなと感じます。

小規模園だと3歳児になるときに別の保育園を探す「保活」の面倒さや、5歳児までの認可保育園のアシスタント的なイメージが先行していますが、その本質的な価値は全く違うところにありますね。

生まれたばかりのこどもたちにとって何よりも必要なことは、保護者や保育者の「かかわる量と時間」です。それもこどもたちの欲求を満たすかたちでのかかわりです。

そのことを踏まえると、集団の大きな保育園よりは言い過ぎかもしれませんが、絶対的に小規模の環境が適しています。

3歳児をすぎると仲間ができたり活動範囲の広がりが出てきますのでむしろ大きな施設のほうが成長とか育ちにとっては理想的だと言えますね。

丸山：私もそう思います。時間をゆったりとかけて、一人ひとりの成長を感じられるところですね。それと、保護者の方との距離感が近いというのも特徴だと思いますね。

「こうだったね・・・」と0歳から2歳まで成長を一緒に見守ることができる場所も小規模園ならではのですね。子育てについてお互いに助け合ったり、お話ししていただいでいっしょに巣立ちを見られるようなところが魅力だと思います。

浜田：私たちの小規模園は「家庭の再現」を大切にしています。

なかでも青山園は一戸建て住宅を保育園に改修した施設で静かな住宅街にあり、本当にこの5年間定員19名いっぱい毎年、地域の方々から青山園を選んでいただいています。

私たちが運営する保育園は5歳児までお預かりする保育園もありますが、2歳児までの小さなこどもたちにとって最適な環境を考えるとやっぱり小規模園がベストだなあと正直感じますね。

年齢に関わらず、こどもたちの集団が大きくなればなるほど「管理」という側面が強くなってしまいます。

これはもうどうしようもない現実の姿としてあるわけです。

丸山：特に2歳児までのこどもたちは月齢で状況がかなり異なりますね。成長のちがいにも柔軟に対応できるし、同じような成長を求める必要もないわけです。成長がゆっくりだったり、早かったり一人ひとり違う姿があり、そこに丁寧に関われる環境がありますね。

浜田：そうですね。丁寧に子どもたちに関わるっていうところだと、仕組みとして小規模園の仕組みがすごく優れているなあとと思います。

保護者の方々からすると「最初に小規模園を選びましょう」というのは、3歳からは別の園を探さなきゃいけないことを考えると、ある意味不便さがあるかも知れません。でもその子にとってはじめての外のせかいなんです。人生がそこから始まるんですね。

おとなの都合もわかりますが、まずはお子さんの最善の場所は何か？という発想で保育園選びをしていただきたいなあとと思いますね。

丸山：小規模だと濃い保育ってのができるんですね。

一人ひとり朝から帰りまで見続けられるっていうのもありますし、愛着形成っていう常に子どもと接するお母さんと同じ状態で子どもと接していけるっていうのも魅力かなあとと思います。

浜田：「愛着」ってことばが出てきましたけども、先生が保育の中で大事にしているところは、やっぱり愛着ですか？

丸山：そうですね。泣いてる子どもをただ突き放すってというのは適切ではないと思うし、泣いてたら抱っこしてあげるとか、気持ちをくみ取ってあげるとか、そういうところを大事にしています。疲れて泣いてるなあとか、こういう理由で泣いてるなあとか。

浜田：しつけばかりが先行し、こうじゃなきゃいけないという形に子どもたちをあてはめていく保育とは対照的ですね。まったく逆のところでの関わりが大事だなあとと思いますね。

丸山：子どもも、おとなも同じ。子どもを下に見ちゃいけないし、丁寧に関わる。おとなの思う通りに動かすんじゃなくて、子どもにあわせて私たちも動いてあげないと。指示命令の保育は子ども自身が疲れるんですよ。精神的にもね。本質的な成長がないですね。

浜田：まさにそこは「いのちへの畏敬」ですね。私たちが大事にしているシュタイナー保育の考え方でもあると思います。

丸山：人権の尊重ですね。

浜田：しつけやマナーって、おとなにとって分かりやすいから、そういうのを優先される保育園さんもあるんじゃないかなあとと思うのですが、私たちにとっては、生まれてきたばかりの子どもたちが、そばにいるおとなを信頼する気持ち、求めていく気持ち、そういう愛着の部分を大事にしていきたいですね。愛着は自己肯定感形成のスタートですから、愛着という土台のうえにいろんなインプットがあるべきだなあと考えています。

「子どもの育ち」という視点で小規模保育園を選択されることをぜひおすすめします！

